

凡事徹底

令和6年度 板橋区立板橋第二小学校 学校経営方針

1 学校経営の基本理念

学校は、子供たちの自立を支援するために、必要な技能や知識を学ばせ、集団の中で人間関係の基礎を身に付けさせることが求められています。このことは、単に学習内容を身に付けさせるだけでなく、将来の社会を築く人材の育成を図っていることにつながります。

子供たちは、6歳から12歳までの6年間もの時間を学校で生活します。1日24時間、そのうち睡眠時間や食事の時間などを除いた半分近くの時間を過ごします。子供たちにとって学校はとても大きな存在です。6年間は子供たちの成長に大きな影響を与える時間でもあります。このことを教職員一人一人が強く意識しなければなりません。

そのために、教職員は、保護者、地域、社会の協力を得ながら「確かな学力」「道徳心」「体力」などを身に付けさせ、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成に勤める必要があります。特に確かな学力の獲得に繋がる「読み解く力の育成」については、板橋区教育委員会の重点施策であり、本校は他校をリードすべく令和2年度から区の研究校として取り組んでいます。

そして、本校の教育目標にある「自分でする子ども」「思いやりのある子ども」「じょうぶな子ども」こそが「生きる力」そのものだにとらえます。また板橋区立小学校として、「板橋区教育ビジョン2025」の実現こそが、人づくりにもつながります。

教育目標や、板橋区教育ビジョン2025の実現を具現化することは、板橋第二小学校教職員一人一人に課せられた責任であるとともに、板橋第二小学校という組織全体に課せられた課題でもあります。一人一人の力では困難なことも組織としてならば解決できる、組織として力を結集した大きな力で解決していくことが重要だと考えます。全教職員が共通理解だけでなく、共通指導・共通行動をとっていく必要があると考えます。

更に、本年度本校は、100周年を迎えます。長い間、地域にあり、地域に支えられ、地域とともに歩んできた本校にとって100周年は大きな節目であります。郷土愛、愛校心を養うには、絶好の機会でもあります。

いずれにしても、心掛けることは、「凡事徹底」です。一人一人がやるべきことを一つ一つしっかりやることに尽きます。

2 板二小が目指す学校像

○子供たち、先生たちが元気な学校

全ての中心は、子供たちです。子供たちが元気でなければ、何の意味もありません。また、それらを導く先生方が元気でなければ、子供たちを元気に

することはできません。教育改革が叫ばれ、制度が変わっても、学習内容が変わっても、行うのは人間すなわち教師です。成果はすぐには出ません。また成果を挙げるのに特効薬はありません。一つ一つやるべきことに、きちんと取り組むしかありません。教師も子供も「**凡事徹底**」を図ることが目指す学校像を達成するにつながると考えます。

【子供から見て】

- ① **受容的、共感的、肯定的な雰囲気**があふれる学校
- ② 自分の**居場所がある**学校（一人一人が認められているという思いをもてる学校）
- ③ **やればできるという思い**を実感させてくれる学校

【教職員から見て】

- ① いつまでも**勤務していきたい**と思う学校
- ② **誇りをもてる**学校
- ③ 各自が**職責を果たす**と共に、必要な場合助けあい、**組織として取り組める**学校

【保護者から見て】

- ① **通わせて良かった**という思いをもてる学校
- ② **学校ならびに教員を支えたい**と思う学校

【地域から見て】

- ① 地域の**自慢できる誇れる**学校
- ② **学校ならびに教員を支えたい**と思う学校

3 板二小が目指す教師像

- ① 子供の耳に傾け、**子供と良好な人間関係を築ける 児童理解の優れた教師**
- ② 保護者や地域の方々と積極的にコミュニケーションを図り、**疑問や相談には真摯に耳を傾け、初期対応を特に誠実に行う教師**
- ④ **善悪をきちんと指導するとともに、正しくない行いに対しては、毅然とした態度で 責任をもって、徹底した指導を行う教師**
- ⑤ 課題に対して、**様々な手だてを考え、実行できる教師**
- ⑥ 授業力向上を達成するために、自らの資質向上を目指し、**自分に厳しい教師**
- ⑦ 一人一人の児童の良さを認め、**持ち味を伸ばし育てる教師**
- ⑧ 自己の**職責を自覚し、きちんと果たす**ことができる教師
- ⑨ 自分の学級や担当の**ことだけでなく、他の教職員と協働し、組織の一員として行動できる教師**

4 板二小が目指す児童像

（学びのエリアで目指す児童像）

「自律」と「自立」

- 自ら考え、挑戦し続ける子
- 自他を尊重し、自ら判断し、責任ある行動のとれる子

○心と体を大切にし、困難にも立ち向かえる子

🏠 学びのエリアでの具体的な取組

- ①「読み解く力」育成に関わる基礎的読解力に基づいた授業等による学力の定着・向上
- ②一人一台の端末を用いた個別最適な学びの充実と、主体的に学習する力の育成
- ③SDGsを意識した地域・街との関わりのある総合的な学習の時間の取組の推進
- ④児童・生徒の交流活動の充実
- ⑤特別な教科 道徳の共通重点指導（「善悪の判断、自律、自由と責任」）の実施
- ⑥コミュニティ・スクール委員会の活性化
- ⑦学校生活等をよりよく改善するための学級活動で育む主体的に取り組む力の育成

5 学校の教育目標

- 自分でする子ども【自立】【創造】
自分で学ぶ意欲と強い意志をもち、主体的に実践する児童を育成する。
- 思いやりのある子ども【貢献】【共生】
豊かな心をもち、自他の人格を尊重し、人との関わりを大切にする児童を育成する。
- じょうぶな子ども
健やかな心と体をもち、心身共に健全な生活を目指す児童を育成する。

6 板二小の教育活動の二つの最重点項目☆印と、五つの重点項目○印

☆環境教育 ビオトープを中心に据えた取組（ユネスコスクールとして）

☆学力向上 ・小中9年間の義務教育をつなぐ「読み解く力」の育成
・基礎学力の定着

○人とのかかわり（良好な人間関係づくり）

○礼儀・規律の徹底

○家庭・地域との連携

○一人一台の端末の効果的な活用

○教科担任制の導入による体育の充実

本校の最重点項目

7 指導目標と具体的な取組

(1) 自分でする子ども……知【自立】【創造】

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - ・学習規律の確立……規律の徹底が学力向上に通じる。（教師の力量）
 - ・読み解く力の育成（読み解く力を育む6つの視点を意識し、教科書を用いて教科書で学ばせる）※学びのエリア重点
 - ・ノート指導（ノートへの記録の徹底から内容の充実へ）
 - ・個に応じたきめ細かな指導の実施
目をよりかけ、手をよりかけなければならない児童への対応
 - ・算数少人数加配教員、学力向上専門員、ボランティア等の効果的な活用。
 - ・スタディアップタイムの充実 ⇒読み解く力の育成も図る。
 - ・放課後学習教室、夏季学習教室の実施

- ・読書活動の充実 読書を通じて語彙の獲得
- ・書くことの重視 1時間の授業の中で文字を、文章をたくさん書かせる。

② 主体的、協働的な学びのある授業実践

- ・板橋区（学びのエリア）授業スタンダードの実践
（なぜ？問いかけ ・振り返り ・学び合いの重視）
- ・言語活動を重視した授業の実施
- ・体験活動を取り入れた授業の実施
- ・一人一台端末の効果的な活用（デジタル教科書、電子黒板、実物投影機、など全ての ICT 機器を含む）

個別最適化と主体的な学習の育成 ※学びのエリア重点

- ・探求的な学習の推進（総合的な学習の時間）※学びのエリア重点
- ・学級や学校における生活づくりへの参画（学級活動）※学びのエリア重点
- ・第二図書室の活用

③ SDG`s の項目や ESD の視点を踏まえた環境教育の推進

④ 環境教育年間計画の確かな実践

- ・総合的な学習の時間における「環境」に関する事項の系統性
- ・ビオトープの活用
- ・栽培活動の充実
- ・3R 活動の推進
- ・児童のビオトープ管理（児童会 環境委員会 地域人材・人財【外部の力】）
- ・環境教育推進委員会の充実（ユネスコスクール校として）
- ・各教科、総合的な学習の時間、学活、行事における取組
（自然発見カード、1年間の環境教育の取組掲示等）

本校の特色・最重点項目

⑤ 家庭学習の習慣化

- ・宿題指導の工夫改善（ドリル的学習は、できる限りタブレットパソコンを用いる。）
- ・読み解く力に関連する課題を継続的に取り組ませる。
（スタディアップタイムでの「読み解く力」の育成に係わる問題への取り組み）
- ・自主学習の取組推進（4年生以上の自主学習ノートを使っでの取組）

(2) 思いやりのある子ども……徳【貢献】【共生】

共通行動・共通指導

①挨拶・返事・清掃活動の重視。

- ・挨拶は「自分から 気持ちをこめ 誰にでも 欠かさず」
相手の目を見て 聞こえる声で
- ・返事は「欠かさず、聞こえる音量で 誰にでも」
- ・清掃活動は静かに 隅々まで 心を「こめて」 迅速に

②心の教育の充実

- ・ 道徳授業の充実（特に「善悪の判断、自律、自由と責任」は※学びのエリア重点）

（児童の振り返り、ノートへの記入、）

いじめは、どんなことがあっても見過ごさない。許さない。

- ・ 人権感覚の醸成

（栽培飼育活動を通じて、人権に関する講話、道徳、いじめ防止月間、いじめアンケート、いじめ防止基本方針）

- ・ ルールとマナーの遵守の徹底（生活指導の充実）

③人に喜ばれる、人を気持ちよくさせる行動の重視

- ・ 地域清掃、募金活動などへの取組

④豊かな人間関係作りの推進

児童理解

- ・ 異学年交流

- ・ 良好な学級集団作り（学級経営・専科経営の徹底）

- ・ 縦割り班活動の推進（縦割り班遊び、児童集会等）

- ・ 幼保小中との交流活動の実施（幼稚園、保育所、中学校との交流）

- ・ Hyper Q-Uを活用した居場所・充実感のある学級作り

- ・ 特別活動の取組

（学級活動の時間を大切にし、自分たちの身近なことを自分たちで考える）

（板二まつり、一年生を迎える会、六年生を送る会、各種集会、運動会音楽会、入学式、卒業式等）

（3）じょうぶな子ども……体

体育健康委員会を中心に板橋第二小体力向上推進計画に基づき取り組む。

① 教科体育の充実

- ・ 運動の質と量の向上（教師が各運動の特性をしっかりと理解して指導。意図的計画的な体育の授業実践）

- ・ 体力調査を踏まえた運動内容の工夫。

②運動の日常化

- ・ 休み時間の確保と戸外遊びの奨励。

- ・ 全校持久走月間や校内持久走発表会の実施

- ・ 全校縄跳び月間の設定、体育朝会での全校縄跳びの実施

③健康教育の推進

- ・ 食育の取組

- ・ 「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底

（4）どの子ども充実感、帰属感が味わえる学校づくり

①特別支援教育の充実

- ・ 特別支援教室の充実、

- ・ 校内特別支援委員会の充実や推進

（入退級判定準備、行動観察のみで終わるのでなく、発達障害のある児童への指導法などを巡回指導教員と特別支援教育コーディネーターが

居場所づくり

中心となって提案)

- ② 夢や目標や意欲をもたせる指導・支援
 - ・キャリア教育の推進 キャリアパスポートの活用
- ③ 達成感や満足感、自己有用感を味わえる場の設定

(5) 学ぶ環境の整った、美しい学校づくり

- ① 清掃の行き届いた清潔な環境の整備
- ② 整理・整頓された教材・教具
 - ・普通教室だけでなく、特別教室、専科教室、準備室も常にきれいに。
- ③ 靴のかかどがそろった昇降口、傘がきちんと入れている昇降口
- ④ 児童に働きかける教室環境や掲示物の工夫⇒校内掲示計画に沿って
- ⑤ 教室内の統一された掲示物と掲示場所

(6) 安全・安心で、信頼される学校づくり

- ① 施設・設備・教材の点検と修繕
 - ・安全点検日の設定と実施
 - ・日常の校内巡視
- ② 安全に配慮した教育活動の実施
 - ・綿密な計画もとの実践
- ③ 防災・防犯・交通安全指導の実施
 - ・防災教室、セーフティー教室、薬物乱用防止教室、不審者対応訓練、情報モラル教室、安全マップ作り等の実施
- ④ 各種マニュアルの整備と改善
 - ・光化学スモッグ対応、高温（気象）対応、欠席時対応、不登校対応、アレルギー対応、不審者対応、保護者対応等
- ⑤ 実際に即した（避難）訓練の実施（アレルギー対応研修等も含む）
- ⑥ 個人情報・個人に関する（係わる）情報への意識
- ⑦ 教員による服務事故防止

危機管理 油断大敵

(7) 保護者・地域等、外部とのつながり

日頃のコミュニケーション

- ① 参観・懇談会・保護者面談・家庭訪問による相互理解の推進
- ② 教育活動の積極的な公開と発信
 - ・ホームページ、
学校だより、
学年だより、
ほけんだより等を
通じての発信。
- ③ 地域人材・人財の積極的な活用
 - ・学校人材バンク（仮称）の活用
- ④ 保護者による支援、ゲストティーチャー、出前授業
 - ・iCS 地域コーディネーター（学校支援地域本部）の活用

※学びのエリア重点

- ⑤ 学校評価の実施と結果の公表
及び学校運営の改善
 - ・ iCS による学校運営への参画

(8) 教職員としての資質向上

- ① 一人一人を大切にしたい愛情あふれる指導・支援
 - ・ 児童理解、保護者理解、迅速丁寧な支援相談
- ② 教職員研修による授業力の向上
 - ・ 読み解く力の育成を目指した校内研究
 - 「読み解く力」を支える基礎的読解力の6つの分類を意識した教科書を用い、教科書で学ばせる研究授業
 - (教科書を用いて授業を行う教員は、最低1回は公開授業実施) + 自己申告観察授業時(通常級教員全員)には必ず上記の6つの視点を入れて実施。週案にも6つの視点を記載。
 - ・ 悉皆研修、自主研修の活用
- ③ 板橋(地区)授業スタンダードの確実な実践
- ④ 職層や立場・役割を自覚した行動
- ⑤ 各自の能力開発
 - ・ 自己申告の教職員が身に付けるべき4つの力(「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力)」の活用
- ⑥ 新学習指導要領に伴う 外国語活動・英語、プログラミング教育に関する校内研修 GIGA スクール構想に関する校内研修 特別支援教育に関する研修。

研修は、随時、必要な時、即実施。実践重視で。研修はしてもらいだけでなく、みんなで学び合う。

タブレット端末の有効活用は、区の重点施策。

(9) 相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上

- ① 教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化
- ② 支え合う協働的な関係の構築
 - 支え合う前提として、一人一人が自身の職責を果たした上でのことを忘れない
- ③ 報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的な対応

自分なりの考えや方策をもつての相談。

(10) 公務員としての服務規律の徹底

服務事故は、個人の問題だけで済まされない。学校中に影響が出る。

自覚 責任感
危機意識

- ① 服務事故0
 - ・ 勤務時間の厳守、体罰の禁止、個人情報の管理、飲酒運転の禁止、わいせつ行為やセクシュアルハラスメントの未然防止、会計事故等々

